

We need an umbrella on rainy days!

Meishu Hitachi Times

Written by 3-5 Shiraiwa,
3-6 Inagaki, 3-9 Koizumi

No.4 Since 2020

31th July . 2020.

Kaminecho3-2-26 Hitachi City Ibaraki Japan

☎0294-21-6328

応援団の想いを形に

新型コロナウイルスの影響により甲子園やインターハイ、コンテストなど各種大会が中止となったが、代替試合などが行われることになった。そして、応援団が“今”出来る取り組みをはじめた。応援団がなぜそのような取り組みをしようと決めたのか、応援団団長の飛田君に話を聞いた。

「今年は応援団の野球応援はない。でも野球部をはじめとする各部活動の応援をしたいと思い、少しでも力になればいいなと思い応援動画を作りました。そして、ほかの部活にもそれぞれの応援メッセージを書いた旗を作成しました。その理由は、ほとんどの代替試合が無観客で応援もあまりできないので、頑張っている人たちに、一緒に頑張りたいという気持ちでエールを送りたいと思いました。」

応援動画は、応援団、ダンス部、吹奏楽部が一丸となり、短期間で準備、練習を重ね作成した。そして部活動の生徒に応援メッセージを届けた。(3-6 稲垣)



新型コロナウイルス感染症対策にハンドクリーム!?

7月23日、東京は366人の新型コロナウイルス感染者が出ており、全国的に再び感染者が増加傾向である。新型コロナウイルスと共存しなければならない社会となった今、感染症対策と様々な苦勞が絶えない。本校では正門での手指消毒やマスク着用を徹底している。



今年度、目玉の行事であった文化祭は見送られ、他にも様々な活動が中止となった。感染症拡大や3密を防ぐため様々な対策がとられているが、その中ではどのような苦勞があるのだろうか。今回は女子生徒を対象に感染症対策についての苦勞を聞いた。マスクをすることが嫌いであると思う女子生徒が大勢いた。理由の

ひとつは「マスクが蒸れること」である。梅雨明けがまだ来ず、蒸し暑い日々が続く中でマスクの着用は蒸れが生じ、苦しささえ感じる。そのマスクの蒸れは肌荒れの原因になるため、スキンケアが必須である。その次に挙げられたのは、「消毒による手荒れ」である。肌が弱い人は、数回の消毒で手が荒れてしまうことがあるようだ。ハンドクリームを持参し消毒で手が荒れてしまうことに対する対策をとらなければならない。マスク着用や手指消毒などの感染症対策の対策も必要である。また、マスクを必ず持参



はなか。「ひとり」は「みんなのため」に、「みんな」は「ひとりのため」に感染症対策をしていこう。(3-5 白岩)

夏季茨城県高等学校野球大会

第102回全国高等学校野球選手権大会中止を受け、その代替試合となる夏季茨城県高等学校野球大会が行われた。野球部の垣入くんは、「大会に向けて力を入れた練習は主にバッティング練習であり、自主練習の時間でもバットを握り、一球一球大切に、常に実践を意識して行った。」と話す。7月26日に日程の都合上、8強までしか出来なくなってしまった。悔しいが3年生のみんなで一致団結して、8強に入りたと言っていた。(後に4強まで実施されることになった。)各部活動でも代替試合が行われている。今まで練習してきた力を振り絞り、最後まで頑張りたい。(3-9 小泉)

